

相互乗り入れ・乗継改善の取組状況

令和7年9月時点

検討案	取組状況
梅田、難波、新大阪、淀屋橋 ○主要乗継経路の案内強化（サイン等） ○乗継移動時の快適性向上（屋根の設置）等	○梅田は、大阪・梅田駅周辺サイン整備協議会を設置（H30.4）し、ターミナルで統一したサイン整備を実施（H30より5年間） ○難波、新大阪では、乗継情報案内モニター等を整備し、案内を強化（新大阪（H29）、難波（H30））
鶴橋、新今宮、西九条 ○移動制約者等の乗継経路の短縮・利便性向上（エレベーターの設置等）	○西九条は、乗継経路上にエレベーターを新設し、案内を強化（H30） 情報案内モニターの整備を実施（R2） ○鶴橋は、乗継情報案内モニター等の整備を実施（H29、H30） ○新今宮についても、乗継情報案内モニターを整備（R1）
京橋、天下茶屋 ○利便性を向上させる新たな乗継経路（乗継改札や連絡通路等）を新設	○京橋は、都市再生緊急整備地域が拡大され、京橋駅周辺が追加(H29) 京橋駅において、案内サインの整備を実施(R2)
谷町九丁目（大阪上本町） ○スムーズな移動、乗り継ぎを楽しめる空間づくり（店舗等による賑わい創出）	○鉄道事業者と意見交換を実施（H28～） （主な論点）連絡通路の快適性向上、賑わい創出など ○乗継情報案内モニターを整備（R1）
天王寺（阿部野橋） ○近鉄とJRを相互直通化することで、南河内・奈良方面から大阪、新大阪、京都方面への連携を強化	○鉄道事業者と意見交換を実施（H28～） （主な論点）相互直通化の技術的課題、案内充実などによる乗継利便性の向上など ○案内サインの整備を実施（H30）
柏原、道明寺、河内長野 ○柏原、道明寺、河内長野駅付近で、隣接する路線同士を接続し相互乗入を実現、観光列車の運行	○鉄道事業者等と意見交換を実施（H28～） （主な論点）鉄道を利用した周遊性向上のための需要喚起、乗継案内の充実など ○柏原、道明寺駅において、案内サイン等を整備（R1・R2） ○河内長野駅において、経路床面案内表示を整備（R2）
日根野 ○大阪南部・和歌山方面と関空方面への同一ホーム対面乗換が可能な駅構造に変更	○鉄道事業者等と意見交換を実施（H28～） （主な論点）同一ホーム対面乗換の技術的課題、大阪南部、和歌山方面から関空への乗換をスムーズにする方策など
河内磐船（河内森） ○安全性・快適性に配慮した乗継経路（歩車分離された連絡通路）の整備等	○交野市と意見交換を実施（R1～） （主な論点）乗継経路となる市道の安全性向上など